

安佐南区の人口 / 244,424人(346人増)  
安佐南区の世帯数 / 106,120世帯(1,082世帯増)  
令和2年5月末現在(前年同月比)

# あさみなみ



## 始めてみよう、 できること

ボランティアや地域活動は、「特別な活動」ではなく、できることを  
できる範囲で無理なく行うものです。活動に興味があっても一歩踏み  
出せないでいる人のために、区内で活動している人にきっかけを聞き  
ました。  
岡安佐南区社会福祉協議会 (☎831-5011、FAX831-5013)

### 子育て・サークル応援グループ MaMaぽけ

子育てサークルへの支援や、サークル  
情報通信を発行。子育てサークルを知っ  
てもらえる機会をつくることを大切にし  
ており、皆で子育てする楽しさを発信し  
ています。



#### 【石田史弥さん(写真中央)】

私が地域の親子サークルの代表だった時に支えてもら  
ったように、区内の子育てサークルを応援したいと  
いう気持ちとメンバーの人柄の良さに引かれ、グル  
ープに加入しました。私は絵を描くことが好きで、それを  
活動に生かすこともでき、自分らしく楽しく活動でき  
ていることにやりがいを感じています。

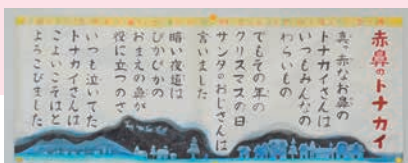


もし、ボランティアや地域活動に興味があるなら思い切って飛び込んでみてくだ  
さい。たくさん得るものがあるし、自分の知らない世界を知ることができますよ。

#### 【代表:坂本牧子さん(写真左)】

「できるときに、できる人が、できることを、楽しく！」をモットーに仲間と共に活  
動しています。平成26年8月20日の豪雨災害から、人々の支え合いの大切さを学び  
ました。未就園児を持つ多くの親子が地域の人とつながるお手伝いができたらと  
思っています。

石田さんが作成したイラスト



### 一歩踏み出すこと -チャレンジ-

昨今、地域の担い手不足が課題となっています。そのような  
中で、伴東学区社会福祉協議会会長であり、学区内の下地町内  
会の会長である桑原会長は若い世代と地元のあるり方を考えて  
います。「いきなり町内会の取り組みを任されても何をすれば  
いいのかわからず途方に暮れると思います。そういったこと  
がないように、若い世代には少しずつ地域活動などを通して  
住んでいる地域を知ってもらうことが必要と考えています」  
と桑原会長。



【桑原 一之さん】

桑原会長は、活動は楽しくやっていくもので、会長自身も、「人のために」と思っ  
て活動することが楽しいから今日までやってきていると話します。

「私の日々の目標の1つに「挑戦する」という言葉があります。楽しいかは一歩踏  
み出して、取り組んでみなければ分かりません。何も分からない中での最初の挑戦  
は難しいでしょう。そういった人々の背中を押したり、きっかけをつくることが  
できればと思っています」。前例に捉われず、活動に新しい発想を取りこむために、挑  
戦する人にアドバイスをしながらも自主性を重んじ、活動を見守っていると話し、  
町内会でも親しまれている笑顔を見せてくれました。

### 青年部結成へ

「何かやってみないか」。桑原会長に声を掛けられた町内会の沖野靖政さん  
は、地域活動の長所短所が分からないまま地域が衰退していくことに危機感を  
覚え、「知ること」を実践してみようと行動に移しました。地域の男性陣とイベ  
ントや親睦会を通して声を掛けていき、地域の祭りやイベントのサポートを中  
心に活動する青年部を結成。沖野さんが部長となった青年部はメンバーの参加  
率も高く、仲間たちと楽しい時間を過ごしています。

### 地域の居場所 「ワイワイ広場」

子どもや親子などの「地域の温かい  
居場所づくり」を目的とした会で、地  
域の人が参加しやすい雰囲気づくりを  
し、親子の孤立防止、地域のつながる場  
を設けています。



#### 【迫田英水さん(右写真中央)】

「子や親に食べることの大切さを発信したい」  
「地域のために何ができるか」。そう考えていた時  
に知った「子ども食堂」が今私にできることではな  
いかと考へ、活動を始めました。子ども食堂と聞くと  
「貧困な状況にある子どもが対象」と思われがち  
ですが、私が目指しているのは誰でも来られる  
地域の人たちの居場所です。夏祭りやクリスマス  
会など、地域の人たちが楽しめる催しを思いつ  
いたらすぐに企画し、楽しい居場所づくりに励んで  
います。私自身も楽しんでいるので、継続して活動  
することができています。



やってみたい活動を思いついたら、すぐにチャレ  
ンジしてみてください。「意外とできるものだ」と自  
分の可能性に気付くことができると思います。



子ども食堂のある日の献立

### 障害者サポートセンター together 広島

障害者と支援者のためのピアカウン  
セリングを実施しています。ピアカウ  
ンセリングとは、同じ時間内でアドバ  
イス・否定・批判をせず仲間同士が対等  
な立場で話を聞き合う手法です。



#### 【梅坂紀子さん(上段右)】

障害がある人が、全ての人と対等で誰もが主体的に生活できる社会にし  
たいという思いから活動を始めました。活動の中で出会う人たちは、お互  
いを応援し合う大切な仲間となっています。辛いことがあった時に、ピアカ  
ウンセリングでお互いの気持ちを聞き合うと、自分と向き合うこともでき、  
「前を向いて進もう！」「一人一人が、かけがえのない大切な存在だ」と思  
うことができます。

今後も活動を通して、障害者だけではなく全ての人と気持ちを分かち合  
いながら、つながりをつくっていききたいです。皆さんも、ぜひピアカウ  
ンセリングを体験してみませんか？

### まずはご相談を!

現在活動しているボランティアに参加したい、新しくボランティアグル  
ープを開設したい、地域活動に参加してみたいなどの相談に応じます。気軽に相談  
してください。

岡安佐南区社会福祉協議会

(☎831-5011、FAX831-5013、E-mail:asami@shakyohiroshima-city.or.jp)